

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	藤田医科大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	愛知
大学全体の総収容定員	2,640名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	医学部（医学科） 医療科学部（医療検査学科、放射線学科） 保健衛生学部（看護学科、リハビリテーション学科）		
事業計画名	藤田医科大学 医療科学部 医工共創学科 設置計画		

2. 事業概要

医療現場においては、新たな診療を技術として捉え、創造性と独創性を有し、産業界と共に革新的な医療技術の創成を目指す人材に対する期待が高まっている。現場が求める新たな医療技術を提供する者を育成するためには、「人を知る医療者」と「工学を知る技術者」とバイリンガルで話ができ、医療の現場と工学の現場を繋ぐ者の育成が急務である。この課題を解決するために、日本最大の臨床数を有する医学系大学の責務として、医療科学部に医工共創学科を新設し、学部から大学院修士課程までの6年一貫教育プログラムにより、「医療科学を基盤にヒトを理解し、工学・情報科学を用いて新たな社会的価値（医療イノベーション）をチームで創造できる人材育成を行う新たな医工学教育モデルを展開」する。また、研究面では、「アンメット・メディカル・ニーズを充足するような革新的な医療に係る学術・技術の研究開発とその社会実装を基軸とし、産官学民のともに成長する学びの場を構築」する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度				
認可申請・届出の別	認可申請				
改組内容	既存学部における学科の新設				
設置等組織名	医工共創学科口				
設置等組織の学位分野	保健衛生学関係	工学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	30名				
他学部等の入学定員の減少数	0名				



事業計画名 藤田医科大学 医療科学部 医工共創学科 設置計画

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	医療科学部 医工共創学科	入学定員増数(合計数)	30
所在地	愛知県豊明市	改組内容	既存学部における学科の新設	入学定員減数(合計数)	0

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月)では、Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策として「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環の具現化が求められている。
- ・保健医療2035(平成27年6月)では、保健医療におけるイノベーション(新たな社会価値の創造)を通じて我が国の経済成長や発展の主軸として寄与することが謳われている。

<教育内容・育成する人材像>

- ・医療科学を基盤にヒトを理解し、工学・情報科学を用いて新たな社会的価値をチームで創造できる人材を養成。
- ・医療と工学の学びの融合により、様々な分野の技術を普遍的に見渡し、システムを構築するための技術を選択する能力を有する。
- ・自らが研究ターゲットを定め、異分野の専門家で構成されたチームにおいて、将来の医学・診療の場を考えた新規診療技術に必要なとされる研究のマネジメントが出来る。

- ・『**未来の医療からバックキャストिंग**で 新規診療技術を創成』する学びを目的とする教育内容の整備。
- ・医学(基礎・臨床)と工学(電気電子・機械・情報・化学)を学際的に繋ぐ「**医工学学際科目群**」、「**未来共創科目群**」を配置。
- ・グローバルな変化に対応でき、世界視野で技術を展開できる医工学専門技術者育成を視野に入れた、語学教育、海外研修制度、産学連携に基づく実務型教員による実践的教育の充実。
- ・研究者教員と実務家教員、学園附置センター(医工学社会共創センター、産官学連携推進センター、キャリア教育センター等)や中部圏の産業界から招聘するゲストとのチームティーチングを基盤としたPBL、TBL、インターンシップの展開。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・未来社会の健康医療課題解決へ果敢にチャレンジする『Fujita VISION 2030』実現に向け、医療科学部(臨床検査技師・臨床工学士・診療放射線技師の育成)に新たな学科を併設。
- ・学部から大学院修士課程までの**6年一貫教育プログラム**による、「人を知る医療者」と「工学を知る技術者」の**バイリンガル人材**育成。
- ・アンメット・メディカル・ニーズを充足する**革新的な医療に係る学術・技術**の研究開発とその実用化を目指す。

- ・大学附置の医工学社会共創センター(令和7年1月開設)を核に、日本のものづくり産業の集積地である中部圏の関連産業界との協働(教育改革ラウンドテーブルを設置)による実践型教育の展開と研究成果の社会実装の両立を目指す。

<多様な入学者の確保>

- ・東海エリアの高校や新たに設置予定の街中拠点における積極的なマーケティングリサーチと広報活動によるニーズの把握と広報活動の展開。



- ・包括協定を締結している愛知県教育委員会と地域の高校進路指導教員との定期的な情報交換会実施によりニーズや課題の把握・分析・対応。
- ・高校生を対象とした医工学共創セミナーの定期開催により、中等教育期からの未来創造的志向の創出。
- ・アドミッションポリシーに基づいた多様な入試制度の構築。

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・国立大学法人名古屋工業大学をはじめとする協定校と連携体制を構築し、社会共創に資する工学教育体制の整備。
- ・先端医療開発コンソーシアム(C-DAM)参加大学との協働により先端医療技術の社会実装を目的とした異分野融合体制の拡充。